

産業・建設・水道分科会の結果及び中間報告

1 経過

平成21年9月10日（第1回）、10月9日（第2回）分科会を開催した。

第1回の分科会では、市長に提案するテーマを決めるため、いろいろ項目をいただき、どれも重要であり、1つに絞り込むことは、難しいということで、いろいろ協議した結果、4項目に絞り込む。

[主な内容]

「海の寺泊」ブランドの確立...[人と自然と歴史が融合した活力あるまちづくり]をメインテーマに基づき、協議

そのための具体的テーマとして提案された内容は、次のとおり

項 目	内 容
1. 「海の寺泊」人と自然と歴史が融合した活力あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none">・長岡市内から寺泊の大型幹線道路の整備を含め、海水浴場、魚のアメ横、漁業、釣り場、キャンプ場、広大な砂浜等を整備する「海の寺泊」人と自然と歴史が融合した活力あるまちづくりを検討しては・農村部、海、山、川を含めた寺泊海岸の計画が望ましい。・いろいろな意見がいっぱいある。それを繋げ合わせて寺泊独自のものを作り上げる。
2. 農業、漁業、観光の連携（グリーン・ツーリズム）	<ul style="list-style-type: none">・都会の子達が農作業を体験をするものだが、寺泊地域では、海（漁業）も農業も体験できる。二つを組み合わせればもっと人は集まる。・パイプやルートができれば、定期的な交流活動ができるのではないか。・農村部、海岸部に空き家がたくさんあるので、それを活用できないか。・ヨットやカヌーもある。それを活かしたものもできないか。・寺泊は、総ての自然体験ができる。（カマクラ体験以外は）

<p>3 . 地域特産物の P R</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寺泊地域の農産物を P R するには、魚の市場通りは全国に知れわたっているので、そこを利用して、地域の特産物の P R も必要。魚だけでなくことも P R したい。 ・ 内陸部では、ブドウ、なし、いちじくなど多く生産しているが、なかなか売れない、成果がないので後継者不足もある。大型バスが入るような場所で、魚ばかりではない農産物の特産品もあることを P R する場所が必要。
<p>4 . 環境と資源を生かした、住民協働による「銘産品の開発・特産品づくり」による地域産業おこしと商品開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寺泊地域・大河津地域とも一生懸命にやっている団体が多くある。それをまとめ上げるのが、地域委員の役割。また一緒になってやるのが大事 例：特産物を作りたい、農産物と海産物を一緒にして、他にないものそれも保存がきくもの ・ 里山の沢水を利用している米は、美味しくみんなに認められている。ただ、販路を見いだせない。 ・ きれいな沢水が流れているところでは、長岡で発見された仏ドジョウ、沢蟹、河エビが生息する。そういったところで、生産されている米は大変おいしい、それらに関連したネーミングにより、ブランド化できないものか。

第 2 回分科会では、4 項目について、各委員が、資料等を作成し、協議することとした。

2 4 項目の経過と結果

項 目	経 過 と 結 果
<p>1 . 「海の寺泊」人と自然と歴史が融合した活力あるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寺泊地区まちづくりの提案「海の寺泊」人と自然と歴史が融合した活力あるまちづくりをメインテーマに、別紙、資料 1 「整備コンセプト」及び図面に基づき説明 ・ 以前の経験からして、クリアーできるのかとい

	<p>う部分もある。</p> <ul style="list-style-type: none">・案の案であるので、これから、どういうゾーンがいいのか、全体の枠組みを決め、分科会で協議しながら考えていただきたい。・「海の寺泊」海岸線の考え、どうしたらいいのかという提案である。・地域が本当にその気持ちになっていることが、大事。・こういう構想は、短期的にできるものでないので、長期的な中で、全体像の中で、これはいいのではないか。・描いている夢が、実現的であれば、できるだけ、多くこの中に計画と生かして、そして皆様の総意として持っていきたい。・考え方をもう少しわかりやすく、寺泊地域全体のハード面を含めた整備構想をプランとして、住民の要望があるのか仕分けをして、全体構想としてまとめては。・長岡市全体の長期構想がある。寺泊地域をより生かすために、住民の意向として、こういう考え方もありますよという、地域の意向を市に示してもいいのではないか。・私たちの構想がこうだから、市長さんお願いいたしますよでは、乱暴だと思う。・こう計画したら、すぐ造ってくださいでは、絶対だめ。・港利用協議会を拡大、強化して、もっとエリアを広げて協議することが、検討されている。また、ワークショップもあるので、今後は、すり合わせすることも必要になる。・こういうふうに思っているので、話を聞いてくださいと、実現できるか出来ないかわかりませんが、こういう考えもあるということを知ってもらおうということも必要ではないか。・ハードの整備は、好ましくない。地域のみんなと一緒にやる事業を模索しながら計画を立案す
--	--

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的に寺泊地域をこう考えていますよということは、大事なことだと思う。 <p>構想は、今後、具体的に時間をかけ、関係者の理解を得ながら、分科会のテーマとして、検討事項としたい。</p>
2．農業、漁業、観光の連携（グリーン・ツーリズム）	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ツーリズムを通じた寺泊の活性化策について、別紙資料2に基づいて説明。 ・グリーン・ツーリズムでは、農林漁業体験と一緒に楽しみながら学べるところは、全国でも珍しい。 <p>グリーン・ツーリズムでは、人を呼び込むためにもだいじなことである。また、観光の町としても大事なことである。今後、是非とも分科会のテーマとして、検討事項としたい。</p>
3．地域特産物のPR 4．環境と資源を生かした、住民協働による「銘産品の開発・特産品づくり」による農山漁村地域産業おこしと商品開発	<ul style="list-style-type: none"> ・寺泊地域の環境と資源を活かした、「地場銘産品の開発と特産ブランドづくり協働活動促進」による活力ある農山漁村地域おこしを加速する。 <p>「地域特産ブランドづくりと地場銘産品の開発促進」 別紙、資料3に基づき説明</p> <p>これについては、市長への提案に向けて、進めたい。</p>

3 その他

今後の分科会では、項目1．2について議論し、提案をまとめたい。
項目3．4については、一つの提案にまとめ、市長への提案に向けて進めたい。

4 内 容

代表	<p>第1回の分科会において、各テーマについて論議し、提案の中から4つを選び、提案を絞り込むことといたしました。</p> <p>その4項目については</p> <p>農業、漁業、観光の連携 寺泊海岸のコースタルリゾート計画の検討 地域の特産物をPRする館について 環境と資源、人材を活かした、新たな産官学・住民協働による「銘産品の開発・特産品づくり」による農山漁村地域産業おこしと商品開発を図る。</p> <p>の4項目について、次回、分科会までに各委員が、資料等を作成・収集し次回委員会に提出することとした。</p> <p>農業、漁業、観光の連携 寺泊海岸のコースタルリゾート計画の検討については、成田委員に依頼してあるので、説明を求める。</p>
委員	<p>成田委員より、</p> <ul style="list-style-type: none">・ 寺泊地区まちづくりの提案「海の寺泊」 人と自然と歴史が融合した活力あるまちづくりをメインテーマに、別紙、資料の「整備コンセプト」及び図面に基づき説明。・ グリーン・ツーリズムを通じた板寺泊の活性化策について、別紙資料に基づいて説明。
委員	<p>以前の経験からして、クリアーできるのかという部分もある。</p> <p>案の案であるので、これから、どういうゾーンがいいのか、全体の枠組みを決め、分科会で協議しながら考えていただきたい。</p>
代表	<p>「海の寺泊」海岸線の考え、どうしたらいいのかという提案である。開発には、いろいろな規制がかかると思う。大変だと思うが、こういうことで寺泊地域がよくなるということで、市長が認めてくれれば話も違う。</p> <p>地域が本当にその気持ちになっていることが、大事。</p> <p>こういう構想は、短期的にできるものでないので、長期的な中で、</p>

支所長	<p>全体像の中で、これはいいのではないか。 港利用協議会を拡大、強化して、もっとエリアを広げて協議、検討されている。また、ワークショップもあるので、そこはすり合わせすることになる。</p>
委員	<p>。</p>
支所長	<p>描いている夢が、実現的であれば、できるだけ、多くこの中に計画と生かして、そして皆様の総意として持って生きたい。 国有地関係、海の関係者などいろいろ規制があるが、それに関わるものについては、ある程度セーブをかけ、意見も言わせていただく。考え方をもう少しわかりやすく、寺泊地域全域のハード面を含めた開発構想をプランとして、住民の要望があるのか仕分けをして、全体構想としてまとめては。</p>
委員	<p>長岡市全体の長期構想がある。寺泊地域をより生かすために、住民の意向としてこうゆう考え方もありますよという、計画を行政に要望してもいいのではないか。</p> <p>私たちの構想がこうだから、市長さんお願いいたしますよでは、乱暴だと思う。</p> <p>こう計画したら、すぐ造ってくださいでは、絶対だめ。</p> <p>こういうふうに思っているので、話を聞いてくださいと、実現できるか出来ないかわかりませんが、こういう考えもあるということを知ってもらおうという計画を出す。</p> <p>ハードの整備は、好ましくない。地域のみんなと一緒にやる事業を模索しながら計画を立案する。</p> <p>長期的に寺泊地域をこう考えていますよということは、大事なことだと思う。</p> <p>支所長</p> <p>構想は、今後、具体的に時間をかけ、関係者の理解を得ながら、分科会のテーマとして、検討事項としたい。</p>

委員	<p>グリーン・ツーリズムでは、農林漁業体験を楽しみながら学ぶところは、全国でも珍しい。</p> <p>グリーン・ツーリズムでは、ひとを呼び込むためにもだいじなことである。また、観光の町としても大事なことである。是非とも分科会のテーマとして、検討事項としたい。</p> <p>地域の特産物をPRする館について 環境と資源、人材を活かした、新たな産官学・住民協働による「銘産品の開発・特産品づくり」による農山漁村地域産業おこしと商品開発を図る。 遠藤委員に説明を求める。</p>
委員	<p>遠藤委員より、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙、資料に基づき説明 「事業名 地域特産ブランドづくりと地場銘産品の開発促進事業」 寺泊地域の環境と資源を活かした、「地場銘産品の開発と特産ブランドづくり協働活動促進」による活力ある農山漁村地域おこしを加速する。
代表	<p>これについては、地域委員会で報告し、市への提案としたい。 私たちが、住んでいる町が将来こうして行きたいという意思表示をしてもいいのではないかと、出来る、出来ないは別にして。 農業、漁業、観光の連携を頭におきながら、短期的なもの(予算に関わるもの)、長期的なものとして分けて審議してもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月23日地域委員会が開催されるので、その間に結論もしくは、中間報告まで持って行きたい。 <p>いろいろ項目があるが、どれも重要であり1つに絞りこむのは、難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市町村にない、寺泊しかない特色を活かした点を出していただきたい。 <p>例：学習の場としてのキャンプ場、ウォータバイク停泊場など海岸線整備を望む。</p>

<p>代表</p>	<p>寺泊地域・大河津地域とも一生懸命にやっている団体が多くある。それをまとめ上げるのが、地域委員の役割。また一緒になってやることが大事</p> <p>例：特産物を作りたい、農産物と海産物を一緒にして、他にないものそれも保存がきくもの</p> <p>寺泊地域の農産物をPRするには、魚の市場とおりは全国に知れわたっているの、そこを利用して、地域の特産物の館も必要。魚だけでなくこともPRしたい。</p> <p>内陸部では、ブドウ、なし、いちじくなど多く生産しているが、なかなか売れない、成果がでないの、後継者不足もある。大型バスが入るような場所で、魚ばかりではない農産物の特産品もあることをPRする場所（館）が必要。</p> <p>矢田、入軽井、求草、夏戸、田頭の山にかかっている米は、美味しくみんなに認められている。ただ、販路を見いだせない。</p>
<p>代表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな沢水が流れているところでは、長岡で発見された仏ドジョウ、沢蟹、河エビが生息する。そういったところで、生産されている米は大変おいしい、それらに関連したネーミングをし、ブラウン化できないものか。（生活排水が流れているところは、シマドジョウが生息している。） ・無農薬の米を作って、4～5年経つ、収穫は半分だが、糖度を調べたら魚沼産より糖度は上だった寺泊にもいい米があるのを知ってもらいたい。 <p>ここまで、こうなって来たのは（観光）紛れもなく「アメ横」のおかげと思うが、魚だけではなく農産物もあることも知ってもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜だけでやってはいけないことは、何年か前からみんなは承知している。「魚まつり」からJAと協議しながら「農と魚のフェスティバル」に変更し、一緒にやりましょうということになっている。 ・いい食材もたくさんあるまた、一緒にやりましょうという雰囲気があるが、なかなかそれをまとめる人がいない。 <p>アメ横の駐車場の脇にある市所有の車庫に特産物を販売してはどうか、また、観光協会の事務所を持ってきてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメ横駐車場の土地は、国有地であり、国は売り払い等の処分を考えているようであり、市として今後、市有地を含めて関係者の意見をまとめ、利用計画を作成し対応する必要があるの、現時点ではそれはできない。

長岡市内から寺泊の大型幹線道路の整備を含め、海水浴場、魚のアメ横、漁業、釣り場、キャンプ場、広大な砂浜等を整備する寺泊海岸のコースタルリゾート計画を検討しては。

- ・ 寺泊海岸のコースタルリゾート計画という名称は、前に計画があった港コースタルリゾート計画名称と同じような名称なので、変更してはどうか。
- ・ 農村部、海、山、川、含めた寺泊海岸のコースタルリゾート計画が望ましい。
単なるウォーキングロードの整備ではなくて、公認のウォークラリーを目指しては
- ・ 保安林を利用したコース、旧寺泊中学校跡地を利用した夕日ヶ丘コース、歴史的な物がたくさんあるそれらも含めた中で考えたらどうか。

いろんな意見がいっぱいある。それを繋げ合わせて寺泊独自のものを作り上げる。

寺泊には、いい人材が多くいる。第三者の意見も聞きながらやるのも方法。

グリーンツーリズム 都会の子達が農作業を体験をするものだが、寺泊地域では、海（漁業）も農業も体験できる。二つを組み合わせればもっと人は集まる。

- ・ 寺泊地域の子供たちと交流もさかんになるのではないか。
- ・ パイプやルートができれば、定期的な交流活動ができるのではないか。
- ・ 農村部、海岸部に空き家がたくさんあるので、それを利用できないか。
- ・ ヨットやカヌーもある。それを活かしたものもできないか。
- ・ 寺泊は、総ての自然体験ができる。（カマクラ体験以外は）

トキが来るといったので、これはいいチャンスとっていたが見学はだめ、そっとしてほしいとのことでは、産業、観光にはできない。

テーマが大きすぎて、なかなか先が見えない。

- ・ 具体的なものが出せないと思うが、大きい目標を持って提案していきたい。

- ・我々は、デカイことを考えてはいけない。デカイことを成し遂げることに役立つ前段の提案。
- ・変わったものを考えたなど、いわれるものを提案する。

違う分科会ではあるが、コミュニティーづくりの推進についての提案・要望等があれば、全体の委員会で発言をする。

当分科会は、提案の中から4つを選び、提案を絞り込むこととする。

農業、漁業、観光の連携

寺泊海岸のコースタルリゾート計画の検討

地域の特産物をPRする館について

環境と資源、人材を生かした、新たな産官学・住民協働による「銘産品の開発・特産品づくり」による農山漁村地域産業おこしと商品開発を図る。

- ・ ...については、成田委員が資料等を作成・収集し次回委員会に提出する。

- ・ ...については、遠藤副委員長が資料等を作成し次回委員会に提出する。

次回の分科会は、提出された資料に基づき、提案をまとめるため10月9日(金曜日)午後7時から支所で行なう。

5 結 論

今日の分科会では、各テーマについて論議し4項目に絞りました。

次回の分科会では、提案をまとめるための論議を行ないます。